

本当に「夢をつむぐ」子ども・子育て支援を 実現させるための財源確保に関する要望書

にっぽん子育て応援団

2016年6月10日

2014年11月、消費税率引き上げの1年半延期が決定されたとき、にっぽん子育て応援団は緊急記者会見を開いて「子ども・子育て支援新制度を円滑にスタートさせるための財源確保を求める緊急アピール」を行い、子育て支援関連団体及び子育て当事者からの署名を添えたアピール文を、担当大臣及び国会議員の方々の元に届けました。

このとき、「再延期はしない」とされていたにもかかわらず、再度の引き上げ延期の事態に強い憤りを感じます。消費税率の引き上げは、社会保障に必要な費用を確保するために決定されたはずですが、今回、すべての政党、特に三党合意を行った自由民主党、公明党、民主党（当時）のいずれもが、消費税率引き上げ再延期に賛同していることに、驚きと失望を禁じえません。

6月2日に閣議決定された「ニッポン一億総活躍プラン」は、一億総活躍社会の実現に向け、三大目標「戦後最大の名目GDP600兆円」、「希望出生率1.8」、「介護離職ゼロ」を掲げ、その的に向けて放つ新しい三本の矢のひとつとして「夢をつむぐ子育て支援」を上げています。

しかし、消費税率引き上げの再度延期で、子育ての現場に不安と混乱が生じ、子どもと親が路頭に迷うことにもなりかねません。特に、子どもを取り巻く社会経済状況の変化により、困難な状況にある子どもの養育や、地域ぐるみで子どもを育む地域づくりに携わる人材の養成・確保、就学前教育・保育従事者の処遇改善など、保育に限らず子ども・子育ての現場の人材不足は深刻で、量の確保と質の拡充は切り離せません。

政治の判断で消費税引き上げを再度見送るのであれば、関係者（自治体、事業者、利用者）に不安と混乱が生じることのないよう、政治の責任において、子ども・子育て支援の量と質の拡充に必要な予算を、なんとしても確保してください。さらに、今後、将来にわたり必要となる恒久財源確保について、次世代に負担を先送りしないよう道筋をつけていただきたいと、切に訴えます。

2016年6月10日

にっぽん子育て応援団団長 樋口恵子
堀田 力
安藤哲也
勝間和代

〒162-0853 東京都新宿区北山伏町 2-17 ゆったりーの共同事務所内

にっぽん子育て応援団 電話 03-3269-3314 mail:info@nippon-kosodate.jp